

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		荒廃竹林の現状と今後の対応について	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	竹害対策 & 再利用		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	YMSK		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択一		2.学生
チームメンバー数(公開)	4 名		
代表者(公開)	三沢心曖		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名([メンバー一覧ページ](#)を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 ➡ OK

＜チームメンバー名簿:[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

※応募チームとして[解決したい課題のポイント](#)を、以下にごく短く書いてください

<解決したい課題のポイント>

放置竹林問題の現状と竹の再利用

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

<提案するアイデアの内容>

・**裾野市の竹害を減らす**



・**季節ごとの商品を作って販売**

※例 春：筍掘り 竹容器のいちごゼリー

夏：流しそうめん 五龍祭売る 短冊

秋：メンマづくり 桃 ぶどうゼリー

冬：ランタン売る 刈る 竹細工

・**竹林整備等の活動をされている自治体の皆さんに協力してもらう**

1. 大変なこと：人手不足（高齢化）

資金不足

竹林のそばに人家がある

2. 竹林の怖いところ：危険生物に出会う確率が高い

斜面などの整備が大変

風雪被害

伐採してもしても生えてくる強さ

3 困っていること：道路に竹が倒れ交通障害になる

鬱蒼とした人の入れない（持ち主の分からない竹林がたくさんある）

整備が追いつかない

・**人を増やす**

1. 高齢社会になり人手不足になってしまった。なので、竹が伸びてしまったら自治体の人だけとなると厳しくなってしまう。

2. 20～30代の若い人たちを対象に参加してもらう。

・**竹害対策**

1. 季節に合わせて竹を有効活用

例：流し素麺 七夕

2. 静岡メンマプロジェクトさんのお手伝い

--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

・竹害の原因

プラスチックが普及した結果竹が使われなくなってしまったから

竹よりもプラスチックが便利のため

・竹弱点

害虫・カビ・割れ

・アンケートの結果

困ってるもの

例：獣害 自然災害

対策：伐根はしていない

少数派では祭りや電気柵

・森林組合で聞いた話

・竹の成長速度が早いこと

・それにより他の植物が育ちににくくなること

・人の敷地内の竹から育ったものは収穫してはならない

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 昨年の地域探求から竹の出てくるポイントが目に見えないところに着眼
2. 竹林整備等の活動をしている自治体の人へのアンケート
3. 森林組合へのインタビュー→成長速度が早いから少しでも解消する方法

1. 昨年の地域探求から竹の出てくるポイントがわからないところに着眼
竹が生えてくるポイントがわからない。そのため私有地に入ったり山で鬱蒼と茂ったり、他の植物に影響することが分かった。よってそれを避けるために対策を立てていこうと思った。

2. 竹林整備等の活動をしている自治体の人へのアンケート
現場の25名の方へアンケートを取りそこからどのような害があるのか、またどのような解決策を実行しているのかを取っているのかを聞いた。そこからより良い案や大変なことを減少させる方法を練った。

3. 森林組合へのインタビュー→成長速度が速いから少しでも解消する方法
森林組合の方にインタビューを行い、成長速度が速いことが分かりその特性を生かしながらも竹害を増やさず減らしていくことを目標。